車川小水力発電所事業評価調査事業

1. 事業の目的

車川にて水力発電事業計画の事業性を評価し、水力発電所建設に繋げることを目的とした。

2. 事業の内容

(1) 事業者名

八千代エンジニヤリング株式会社

(2) 補助事業の名称

車川小水力発電所事業性評価調査事業

(3) 事業期間

令和5年10月25日~令和6年2月15日

(4) 調査を実施する発電設備の概要

a.発電形式 : 水路式 b.使用水量 : 0.18m³/s c.有効落差 : 71.25m d.出 力 : 95kW

3. 令和5年度の事業実施概要

① 流量調査

令和5年11月~令和6年2月の期間で月1回の流量調査を行った。流速については電磁流速計を用いて測定を行った。

② 地質調査

水力発電施設計画地ならびにその周辺の既存資料(地質図・活断層分布図(産業技術総合研究所等)、地すべり地形分布図(防災科学研究所等)等)における地形地質データを整理した。

③ 事業性評価

発電量計算に用いる近傍流量観測所(霧積ダム地点)のデータを流量調査の結果を踏まえ見直し、事業性評価を行った。



4. 事業の成果等

①流量調査

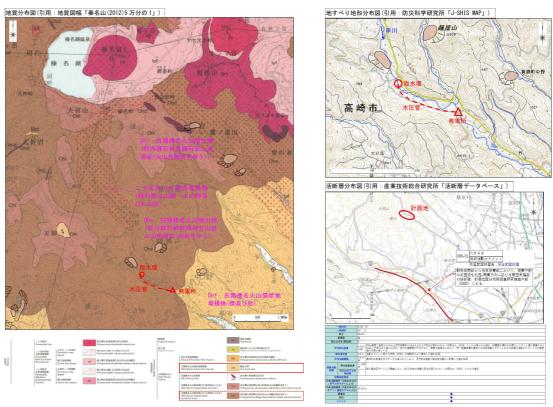
令和5年11月~令和6年2月の期間で月1回の頻度で実施した流量調査により、計画地点の流量データを入手できた。

本事業で実施した流量調査(令和5年11月~令和6年2月の計4回分)及び、自社で実施済みの流量調査(令和5年5月~令和5年10月の期間で計6回分)の結果を用いて、近傍流量観測所である霧積ダム地点との比流量の関係を整理した。その結果、近傍流量観測所である霧積ダム地点より、流況が悪い可能性があると考える。

調査日	令和5年	令和5年	令和6年	令和6年
	11月7日	12月7日	1月5日	2月6日
本事業の流量調査結果(m3/s)	0.12	0.07	0.06	0.07

②地質調查

計画地には事業の進捗に対して致命的となる断層や地すべり地形等の地質事象は確認されなかった。



③事業性評価

発電量計算に用いる近傍流量観測所のデータを、流量調査の結果を踏まえ見直しを行った。見直した流量データを用いて、事業性評価を行った結果、事業の推進は困難であると判断した。

5. 事業スケジュール

